



貴重書

五百八十七

外題用更紙

上

特  
19

954



40. 8. 26



ア306531

墨川亭雪麿作立政画

江戸紫浪花死梅

上の巻

天保十亥春再刻正栄堂持

一之巻

嘗て醒齋小梅の由女術の著述あり梅法吉三著  
 編あり俱は絶妙の作者は世に合巻され速二十年前の昔と  
 るて茜染の色もつるの野中の井戸隠れかちて今も人稀るべ  
 西作の名と假で紫頭巾と頭を戴た路ると鳥の黒白と善悪とを綴  
 分六巻の神史と著秋も家中の月見とらふは世客の催促あり  
 能い女の神を月夷満その角市に回ると合巻んと靖合ておとま  
 摩河般若若く置趣向あり疾いよる今下の別徳平が膏茶  
 あると彼や是やと子書るん日赤本をえとと聴く助をそら  
 其終より白奪をえとといふ序らるるを序めりて序ま

墨川亭雪麿作



左の如く  
月乃

白  
山嵐

実ハ  
梅法希稀兵衛  
文屋宮田九が孫  
塩寛大臣



左の如く  
本意を

梅の由兵衛  
実ハ坂上是則  
由兵衛女房小梅



六条  
志保も  
おん  
おん  
既白

同  
寝覚

同  
幾  
夜



希  
養女  
千鳥

小梅  
実の  
是則男  
坂上  
吉長





舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を

舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を



舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を  
 舟のなかの静けさと  
 舟の外の波の音を



二之巻

Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration on the left page.



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration on the right page.













此の薬は... 月水不順... 婦科... 妙薬...  
 月水不順... 婦科... 妙薬...  
 此の薬は... 月水不順... 婦科... 妙薬...  
 月水不順... 婦科... 妙薬...



月水不順... 婦科... 妙薬...  
 此の薬は... 月水不順... 婦科... 妙薬...

# 百天女丸

此の薬は... 月水不順... 婦科... 妙薬...  
 月水不順... 婦科... 妙薬...

此の薬は... 月水不順... 婦科... 妙薬...

賞色百廿四文

本家江戸本町二丁目

中野

式亭三馬製



本草綱目卷之二十一

藥考

大青三葉



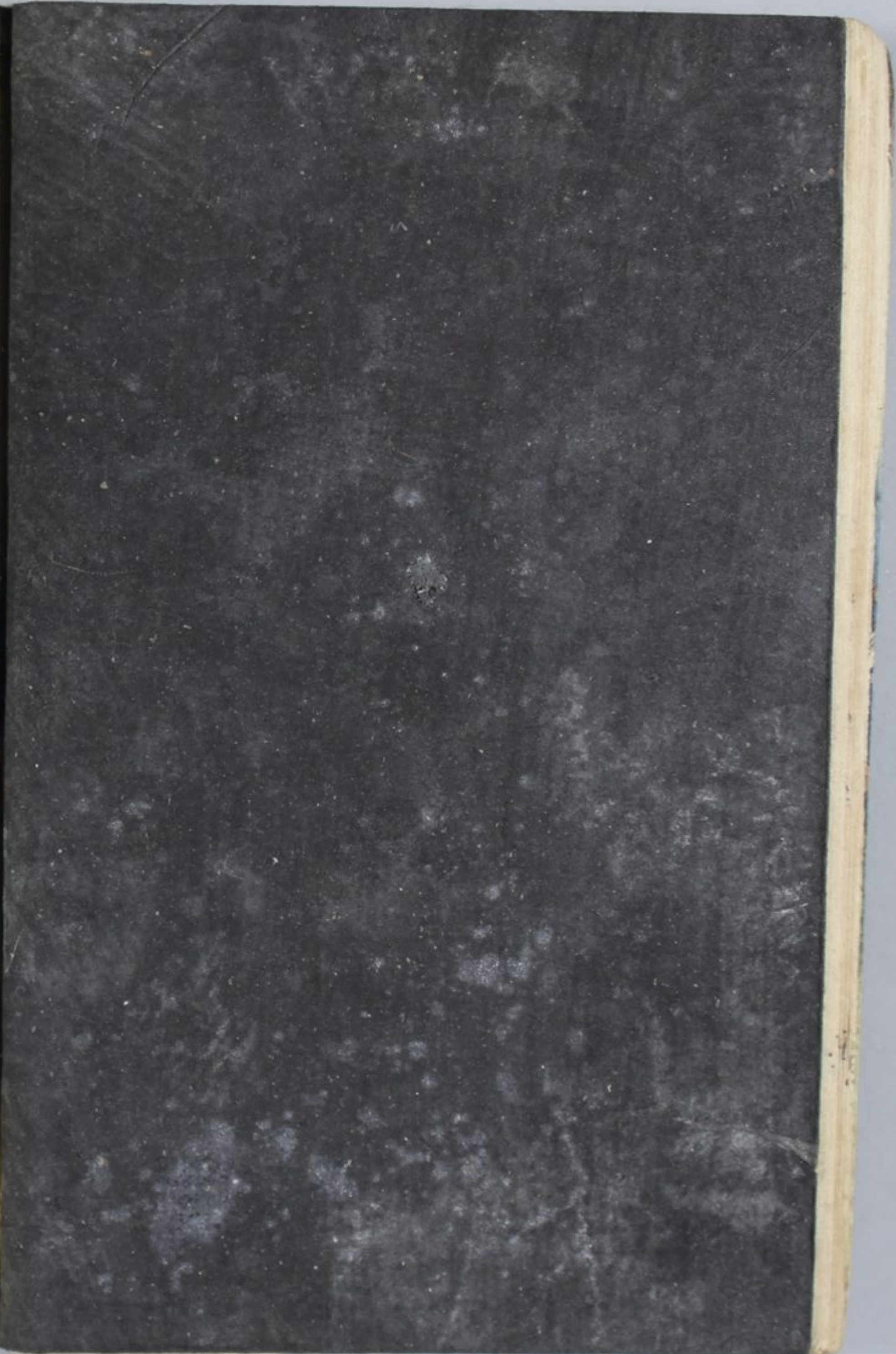
大青

大青一名大青

大青一名大青

大青一名大青，其性寒，味甘，能清熱解毒，消腫止痛。主治一切熱毒瘡癤，疔瘡，癰疽，疔毒，瘰癧，痔瘡，脫肛，便血，崩漏，帶下，赤白帶下，經閉，產後血暈，小兒驚風，疳積，蟲積，瘧疾，傷風，咳嗽，痰多，氣喘，胸膈痞滿，嘔吐，泄瀉，痢疾，腹痛，腰痛，背痛，手足麻痺，筋骨疼痛，跌打損傷，刀傷出血，湯火灼傷，無名腫毒，疥癩，濕疹，皮膚瘙癢，蚊蟲咬傷，止血生肌，消腫止痛，功效顯著。

本草綱目卷之二十一 藥考 大青三葉





今戸系伝本花梅

雪磨作中

宣政画之卷

天保十年亥春再板正栄堂板











# 重政画雪麿作之

此の物語は、昔の事だ。ある時、ある町に、ある人がある。その人は、あることをした。その結果、あることが起きた。その時、ある人が、あることをした。その結果、あることが起きた。その時、ある人が、あることをした。その結果、あることが起きた。その時、ある人が、あることをした。その結果、あることが起きた。



# 四之巻

前へ... 此の物語は、昔の事だ。ある町に、ある人がある。その人は、あることをした。その結果、あることが起きた。その時、ある人が、あることをした。その結果、あることが起きた。



... 此の物語は、昔の事だ。ある町に、ある人がある。その人は、あることをした。その結果、あることが起きた。その時、ある人が、あることをした。その結果、あることが起きた。

おかしな話  
おかしな話  
おかしな話



おかしな話  
おかしな話  
おかしな話

おかしな話  
おかしな話  
おかしな話

おかしな話  
おかしな話  
おかしな話



おかしな話  
おかしな話  
おかしな話





五之巻







血症一切枕下敷とはきむ一歩即功あり

# る 婦人三養湯

紅麻袋入 かげん代 百三十五文  
姉の出 小包代 五十文

●せんせんやめさんごのむねたらのSun...  
またてありののまぐり...  
さんせん月ひさる人...  
そく用...  
たごひさま...  
ま...  
あ...  
何...  
ひ...  
は...  
薬...  
ち...

本家調合所 彦本町三丁目 仲むぐ式亭三馬製



本家譜合所錄本四二日 號左亭三馬號

Handwritten text in a cursive script, likely a genealogical record or a historical account. The text is dense and fills the main body of the page.

蘇州川教館 (Large characters with a circular seal to the left)

蘇州川教館 (Vertical text on the left side of the page)



重政  
雪磨作

巳亥春再  
正榮堂版

下





此は  
 女  
 花  
 衣  
 之  
 巻  
 也  
 其  
 衣  
 之  
 花  
 文  
 也  
 其  
 衣  
 之  
 花  
 文  
 也

江戸 下の巻

宗

門正板

寛政 画 花梅





Handwritten text in a cursive style, likely a narrative or dialogue, occupying the upper and right portions of the page.



Handwritten text in a cursive style, likely a narrative or dialogue, occupying the upper and right portions of the page.







1871  
 1872  
 1873  
 1874  
 1875  
 1876  
 1877  
 1878  
 1879  
 1880  
 1881  
 1882  
 1883  
 1884  
 1885  
 1886  
 1887  
 1888  
 1889  
 1890  
 1891  
 1892  
 1893  
 1894  
 1895  
 1896  
 1897  
 1898  
 1899  
 1900



1901  
 1902  
 1903  
 1904  
 1905  
 1906  
 1907  
 1908  
 1909  
 1910  
 1911  
 1912  
 1913  
 1914  
 1915  
 1916  
 1917  
 1918  
 1919  
 1920

1921  
 1922  
 1923  
 1924  
 1925  
 1926  
 1927  
 1928  
 1929  
 1930  
 1931  
 1932  
 1933  
 1934  
 1935  
 1936  
 1937  
 1938  
 1939  
 1940  
 1941  
 1942  
 1943  
 1944  
 1945  
 1946  
 1947  
 1948  
 1949  
 1950



1951  
 1952  
 1953  
 1954  
 1955  
 1956  
 1957  
 1958  
 1959  
 1960  
 1961  
 1962  
 1963  
 1964  
 1965  
 1966  
 1967  
 1968  
 1969  
 1970

此乃... 卷之六

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or literary record, occupying the upper portion of the right page.



Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or record from the right page, located in the upper left section.



Handwritten text in a cursive script, located in the lower left section of the page, providing additional context or commentary.





Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, positioned below the illustration of the man in the hut.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, positioned between the two illustrations on the left page.





花蘭齋重政画

墨川亭雲麻屋



此の肌白く清らなるは...  
 美艶仙々香...  
 墨川亭雲麻屋...  
 此の肌白く清らなるは...  
 美艶仙々香...  
 墨川亭雲麻屋...

紅毛 奇方 妙あり

色白く 妙あり

この妙ありは...  
 奇効ある薬種...  
 洗粉の極製あり...  
 小三馬...  
 式亭小三馬...  
 本家製法所江戸本町三丁目



国文

24L

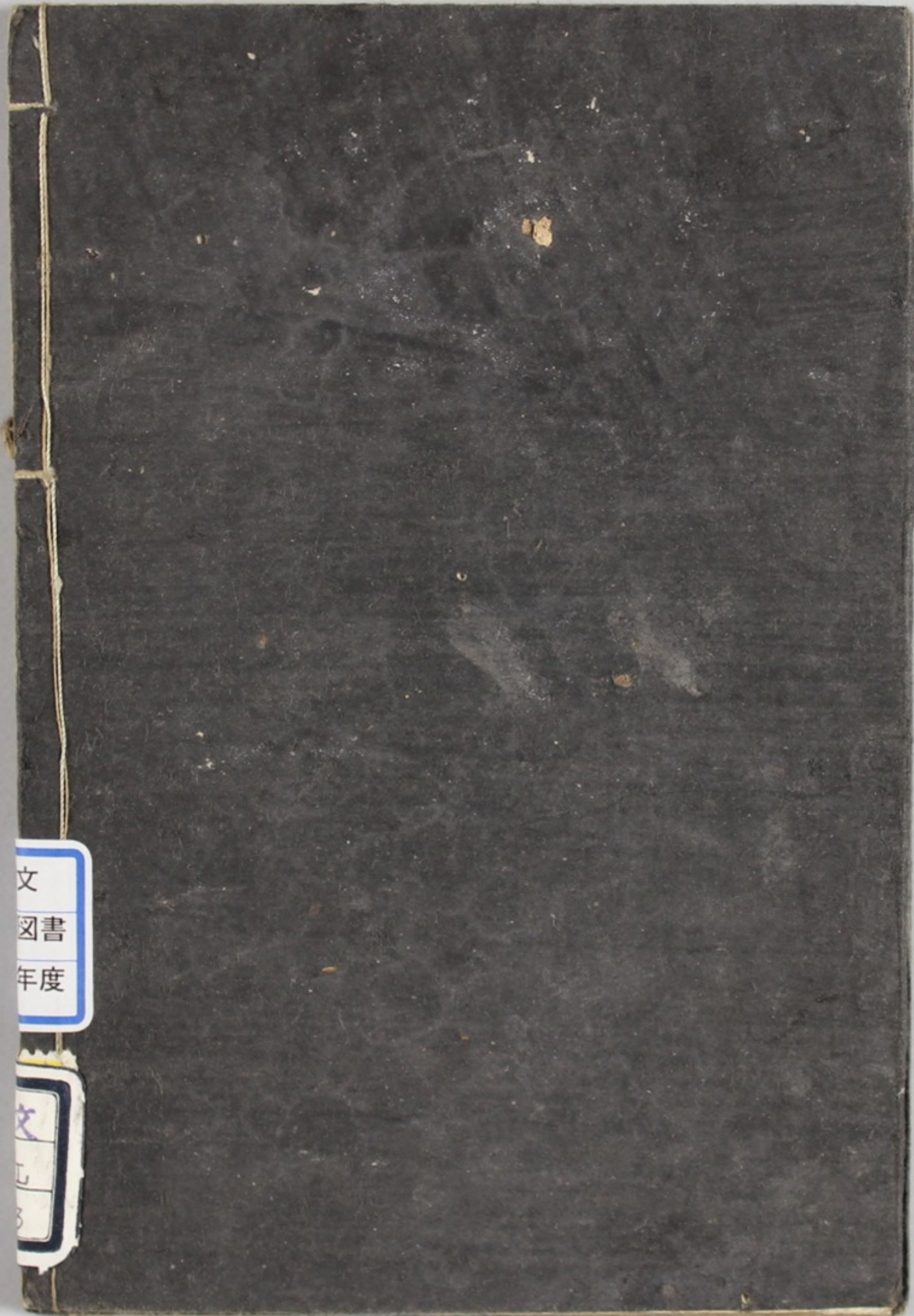
43

本表雖去所本西三直 夫亭山三惠 焮日(小三惠)

Handwritten cursive text in a vertical column, likely representing a transcription or commentary on the header. The text is dense and difficult to decipher due to its cursive style.

Handwritten text located at the bottom of the page, possibly a signature, date, or additional notes. It includes some characters that appear to be '廿四文'.





文  
圖書  
年度

文  
L  
3